

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	情報処理 I	
科目基礎情報							
科目番号	0012			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	学生のための詳細C 中村隆一 著 東京電機大学出版局						
担当教員	岩崎 宣生						
到達目標							
1 : C言語の基本知識を理解し、入力と画面での表示プログラムを作成できる。 2 : 整数計算と実数計算に関するプログラムを作成できる。 3 : 分岐構造のようなプログラムを作成できる。 4 : 簡単なフローチャートを描くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		C言語の構造を理解し、入出力、選択処理、反復処理を用いた応用的なプログラムが記述できる。		C言語の構造を理解し、入出力、選択処理、反復処理を用いた基本的なプログラムが記述できる。		C言語の構造を理解しておらず、入出力、選択処理、反復処理を用いた基本的なプログラムが記述できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		C言語によるプログラムの作成に関する入門的な知識を習得し、講義内容に対応した演習を行う。データの入出力と計算を学習した後、選択処理と反復処理を学ぶ。					
授業の進め方・方法		シラバスの内容に基づいた講義を行い、その講義の内容に関連した演習課題を実施する。					
注意点		事前学習：シラバスに記載された各項目について学習すること。 事後学習：毎回授業中に出题する演習課題を行うこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	プログラムの作成手順		プログラムの記述から完成までの一連の作業の流れを説明できる。		
		2週	入出力		printf関数を用いた入出力のプログラムが記述できる。		
		3週	代入と整数の計算		変数の宣言を理解し、整数の四則演算のプログラムが記述できる。		
		4週	実数の計算		変数の宣言を理解し、実数の四則演算のプログラムが記述できる。		
		5週	if文		if文を用いた選択処理のプログラムが記述できる。		
		6週	if～else文（その1）		if～else文を用いた選択処理のプログラムが記述できる。		
		7週	if～else文（その2）、switch文		if～else文とswitch文を用いた選択処理のプログラムが記述できる。		
		8週	演習・中間試験		1～7週までの内容の演習・試験において、60%以上の正解率が得られること。		
	4thQ	9週	for文		for文を用いた反復処理のプログラムが記述できる。		
		10週	while文		while文を用いた反復処理のプログラムが記述できる。		
		11週	do～while文、無限ループ		do～while文を用いた反復処理と無限ループのプログラム記述できる。		
		12週	演習		反復処理に関する演習を行い、for文、while文、do～while文を用いた基本的なプログラムが記述できる。		
		13週	反復処理の応用		反復処理を利用した応用的なプログラムが記述できる。		
		14週	2重の繰り返し		2重の繰り返しに関する基本的なプログラムが記述できる。		
		15週	演習		1～14週までの内容における基本的なプログラムが記述できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験		演習課題		合計	
総合評価割合		70		30		100	
配点		70		30		100	